

よいことのために手を取り合おう

国際ロータリー第2540地区 2025-2026 年度

ガバナー 桑山 明久

前 RI 会長エレクト マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏が RI 会長就任を辞退されました。この知らせは私たちガバナーエレクトに大きな衝撃を与えました。地区便覧の RI 会長挨拶はどうなるのか、ガバナー月信もどうなるのか、等々。

マリオ氏は相当悩まれたのだと思います。辞退すべきかどうか、辞退した場合、しなかった場合。おそらく何日間も眠られず、食事も喉を通らない日が続いたのではないかと察せられます。マリオ氏は既に辞退なされました。しかし、私たちに大きなプレゼントを与えてくれたのです。それは、「よいことのために手を取り合おう」というメッセージです。私たちロータリアンが、自分の職場や家庭地域で、日本で、世界で何ができるのか、何をしなければならないのかを考え、仲間と手を取り合ってよいことをしていきたいと考えます。

6 月 15 日、アーチック RI 会長から次期 RI 会長が決定し、ラグーザロータリークラブ（イタリア）のフランチェスコ・アレツツォ氏が RI 会長の指名を受諾したことを発表されました。RI 会長予定者の突然の辞任を受け、速やかに次期 RI 会長が決定されたことは、改めてロータリーの強さを感じさせてくれます。マリオ氏のメッセージ「よいことのために手を取り合おう」は継続されることが公表されています。ロータリーの根幹は揺らぎのないものです。約 120 年のロータリーの歴史の中で積み上げられてきた、中核的価値観、即ち、友情と信頼、親睦、超我の奉仕の言葉でくくられる五大奉仕の推進、ロータリーが世界の子どもたちと約束したポリオの根絶、平和の確立と紛争予防など 7 つの重点項目等。私たちロータリアン一人ひとりの力は微弱であり、埃をひとつ払うほどのことしかできないでしょう。でも皆で力を合わせれば、手を取り合うことで、何事かを成すことができます。ロータリーは会員に強制して何かをする組織ではありません。何事も自主性、自発性を大事にする組織であると受け止めてきました。余計なことですが、私はこれに倣って、私の職場では気が付いた人がやることを申し合わせています。自主性、自発性を重んじたいのです。ロータリアンは何歳であっても、ロータリーの中で成長することが可能です。

ロータリーを学びましょう。学ぶことで気付きがあります。気が付くことが成長を促します。私が今まで知らなかったこと、ロータリー平和センターについて、ICCについて、一緒に学びましょう。自分をロータリーに迎え入れてくれたことに感謝し、ロータリー活動を通して、共に成長し人生をより意義あるものにしていきましょう。